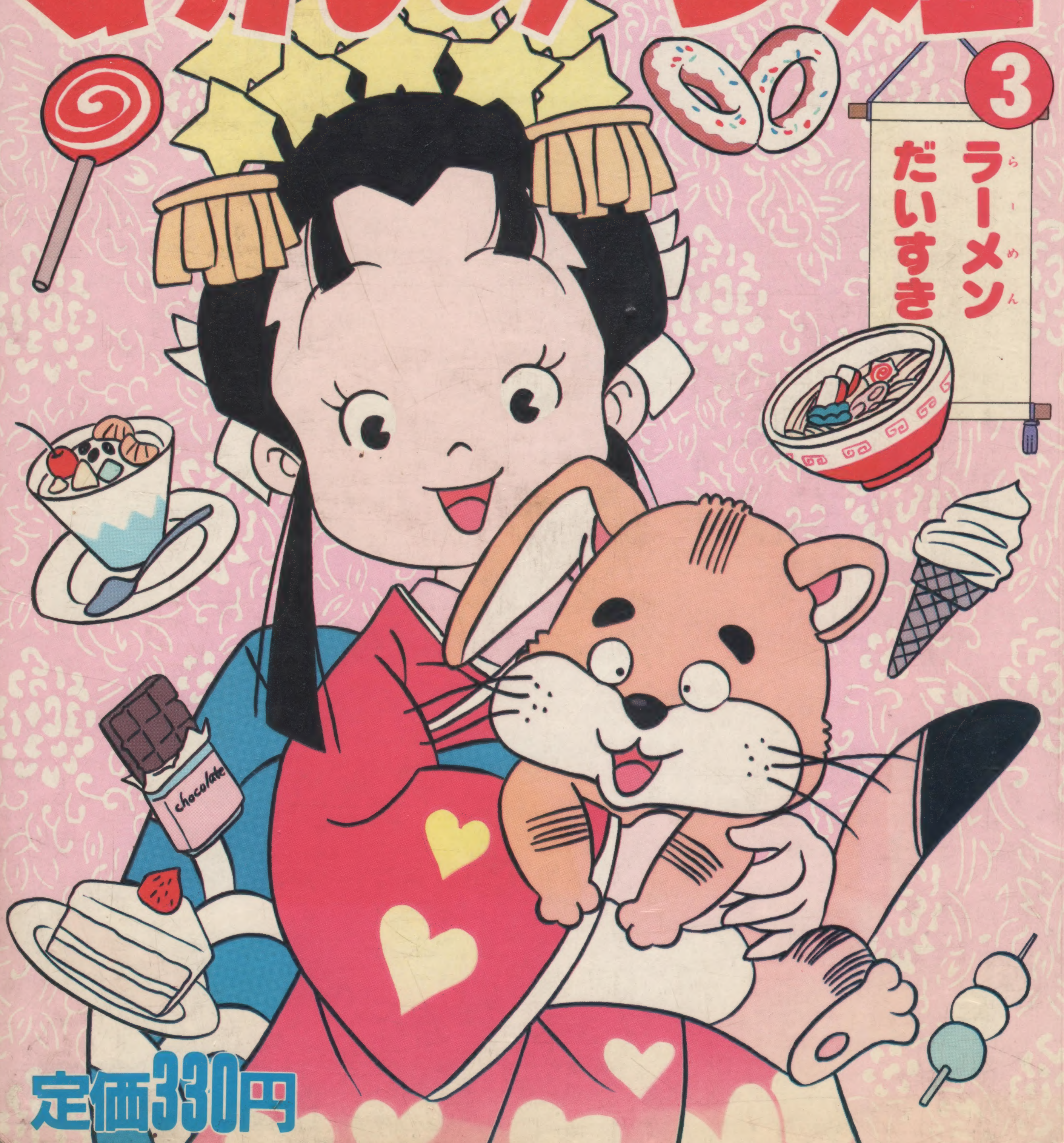
講談社のテレビ絵本

★フジテレビ系で，好評放送中。
（日曜日夕方6時より）

# あんみつ姫

3

ラーメンだいすき




定価330円

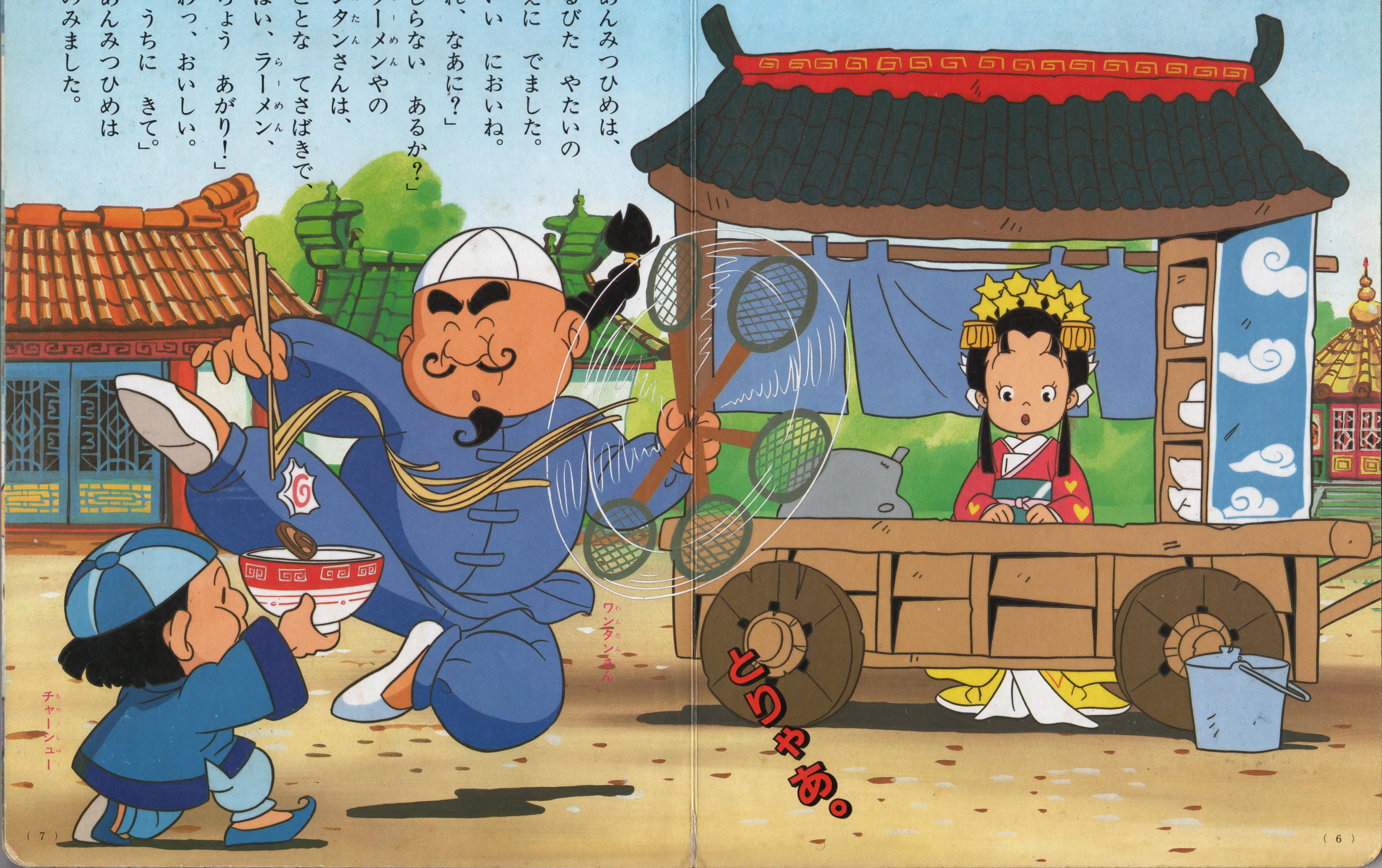
たくさんの
けらいを　つれて、
あんみつひめの
かごが　いきます。
「きゅうくつで、
いやに　なっちゃう。
せっかく　まちに
でられたのに……。」
あんみつひめは、
すきを　みて、
こっそり　ぬけだす
ことに　しました。






「わあ、おまつりだわ。」
ちゅうかがいに、
はじめて　やって
きた　あんみつひめは、
めずらしい　りゅうの
おどりに、わくわく。
まちの　あちこちを
みて　まわります。
「ふう、おなかが
すいて　きちゃった。
あらっ、いい　におい。」
においに　つられて、
あんみつひめは
あるいて　いきました。

あんみつひめは、
ふるびた　やたいの
まえに　でました。
「いい　においね。
これ、なあに？」
「しらない　あるか？」
ラーメンやの
ワンタンさんは、
みごとな　てさばきで、
「はい、ラーメン、
一ちょう　あがり！」
「わっ、おいしい。
ね、うちに　きて。」
あんみつひめは
たのみました。





つぎの　ひ、もらった　ちずを
みながら　きて　みると、そこは　おしろ。
「おひめさまだったんだね、あの　こ。」
「よし、とびきりのを　つくるぞ。」
ところが、おしろの　ひとたちは、
たべた　ことの　ない　ラーメンに、
おっかなびっくり。たべて　くれません。
それどころか、ひこざえもんと
おはぎのつぼねが　おこりだしました。






「にっぽんには、
そばが　あるぞ。」
「うどんが
ある　ざます。」
ふたりは、
ワンタンさん
おやこを
おいだそうと
しました。




「もう、いいかげんにしてよ。たべてもいないのに、けんかをはじめるなんて。」

おこったあんみつひめは、おはぎのつぼねめがけて、ラーメンを、えいっ。

「もぐもぐ、ごくん。
あら、すっごく
おいしいわ。」
みんなが
ふりむきました。

「そうでしょう。
ワンタンさん、
ラーメン、みんなに
つくって　あげて。」






「うまい。　おいしい。」
と、　とのさまも
おくがたも、　にこにこ。
ワンタンさんの
ラーメンは、　まちでも
ゆうめいに　なりました。
「おみせが　りっぱに
なって、　よかったわね。」
「ありがとう、　ひめさま。」
ワンタンさんも
うれしそうです。

（おわり）




©1987　倉金章介・スタジオぴえろ

講談社のテレビ絵本98　あんみつ姫③
昭和62年1月10日第1刷発行　昭和62年5月6日第2刷発行
■発行者　野間惟道　■発行所　株式会社　講談社
■東京都文京区音羽2－12－21（〒112）
■電話　東京（03）945－1111（大代表）
■印刷　共同印刷株式会社　■製本　大村製本株式会社

原作／倉金章介
製作／ぴえろプロジェクト
装丁／川島健三（水野プロ）
構成／スタジオパフ

定価330円

なまえ

雑誌63915-98　ISBN4-06-104298-X C8771 ¥330E (0)　Printed in Japan（デ）
落丁本・乱丁本は，小社雑誌業務部（電話03－947－7686）あてにお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。